

# 高次脳機能障がい “シナプス” ニュースレター

第20号 令和元年12月発行

こんにちは。

本日は“シナプス”をお開き下さりありがとうございます。

遅れ訪れた秋はこのところ深まり、お隣の JA アズムビルのいちょうも黄色く色づいています。今年 2 度目の“シナプス”の発行となりました。

直近には本センターの機関誌“ハビリス”や高次脳機能障害に関する講演会案内をHPに記しましたので一緒にご覧下さい。

この期は多くの研修がありました。お伝えしたいと思います。



## 9月 29日

東京都で「高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」がありました。参加者は当事者やご家族、支援者等約 70 名で、家族の負担感の調査結果や葛藤などの話から、改めて当事者ご家族の抱える問題を感じました。

## 10月 6日

宮崎大学医学部リハビリテーション科整形外科主催の「高次脳機能障害市民公開講座」があり 146 名の参加がありました。講演のテーマは「当事者と介護者をひとまとめの家族として支援する」と「社会復帰に係る就労支援と自動車運転再開」で、ご家族からは前者のひとまとめでの支援に期待する声が聞かれました。

## 10月30日・31日

高次脳機能障害拠点機関対象の「令和元年度九州ブロック会議」の中で2つの講演がありました。高次脳機能障がいの方のコミュニケーションツールとしてコミュニケーションロボ(コムちゃん)開発中の話や、認知機能低下における自動車運転評価に関する講演でした。

## 11月 28日

当センター主催で「高次脳機能障害ファシリテーター養成講座」を開催し64名の参加がありました。ファシリテーターとは「促進者」の意です(語源はラテン語)。講座では「認知」を動物脳と人の脳から学び、注意と情動のコントロールと訓練・支援について演習を交えて学びました。

参加者の多くは支援者の方々でした。

本研修は高次脳機能障害の支援普及事業の一つとして実施しました。支援者の方々は自職場での伝達をお願いしたいと思います。



## 最近見聞しましたこと

1つ 9月29日の名古屋総合リハビリテーションセンター/自立支援局長 鈴木先生の講演で、高次脳機能障害においても福祉法のようなものをつくろうと話していると聞きました。

2つ 同上の講演で NPO 日本高次脳機能障害友の会からの要望書(H31.4.8)の要約(次ページ)を知り、当事者ご家族のニーズが詰まっていると感じました。

## 1. 就学・就労支援について

- ・学校・教育現場や教職員への研修等を通じた病気への正しい理解、普及啓発活動
- ・支援センターと学校・教育関係部署との連携
- ・就労支援に向けた企業側への病気への正しい理解、普及啓発活動

## 2. 医療との連携

- ・小児対応の脳外科医及び医療従事者の育成
- ・医療機関への臨床心理士の配置、臨床心理士による脳損傷後に起きる精神症状への対応
- ・言語聴覚士においては高次脳機能障害の検査、個別プログラム作成及び訓練の実施
- ・退院後リハビリの180日以降の実施の周知(高次脳機能障害も対象であるが周知徹底されていない)
- ・退院後の重度高次脳機能障害支援のための訪問リハビリテーションや介護保険事業所への研修実施

## 3. その他

- ・支援センター機関間の地域格差の是正

3つ 11月8日に本県の「令和元年度高次脳機能障がい支援連絡会議」があり、拠点病院・協力病院、各専門職能団体及び関係機関等(計37)の皆様と顔を合わせる機会を得、今後も連携をお願いしました。

## お知らせ

### 家族会の開催予定

令和元年12月21日(土) 13:30~15:30 宮崎市橘通西1丁目1-1-22 市民プラザ  
令和2年1月18日(土) 同上

### 研修会の開催予定

日時 令和2年1月31日(金) 13:30~16:00 (受付13:00から)  
会場 宮崎市霧島1丁目1-2 県総合保健センター 5F大研修室  
テーマ 「高次脳機能障がい ―今知っておきたいこと―」  
講師 日本高次脳機能障害友の会顧問 中央大学講師 公認心理師 臨床心理士  
山口 加代子氏

### お問い合わせ

宮崎県身体障害者相談センター 電話0985-29-2556 担当:黒木

### 編集後記

「勉学の秋」にふさわしく講演会等の多かった期でした。〇〇の秋には、色々な言葉が当てはまりますが、皆様の秋はどんな秋でしょうか。

11月8日の連絡会には家族会「あかり」から役員の方が参加され、関係者を前に高次脳機能障害ゆえのご苦労や葛藤をお話しされお願いもされました。私も支援者の一人として話をお聴きしました。

家族会「あかり」は毎月開催されています。「自分だけではない」と感じられ気持ちが楽になる場ですので、是非ご参加下さい。また、当センターの相談支援もお気軽にご利用下さい。  
(文責:黒木)